

6:1 また私は、子羊が七つの封印の一つを解くのを見た。そして、四つの生き物の一つが、雷のような声で「来なさい」と言うのを聞いた。

6:2 私は見た。すると見よ、白い馬がいた。これに乗っている者は弓を持っていた。彼は冠を与えられ、勝利の上にさらに勝利を得るために出て行った。

6:3 子羊が第二の封印を解いたとき、私は、第二の生き物が「来なさい」と言うのを聞いた。

6:4 すると別の、火のように赤い馬が出て来た。これに乗っている者は、地から平和を奪い取ることが許された。人々が互いに殺し合うようになるためである。また、彼に大きな剣が与えられた。

6:5 子羊が第三の封印を解いたとき、私は、第三の生き物が「来なさい」と言うのを聞いた。私は見た。すると見よ、黒い馬がいた。これに乗っている者は秤を手に持っていた。

6:6 私は、一つの声のようなものが、四つの生き物の真ん中でこう言うのを聞いた。「小麦一コイニクスが一デナリ。大麦三コイニクスが一デナリ。オリーブ油とぶどう酒に害を与えてはいけない。」

6:7 子羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が「来なさい」と言うのを聞いた。

6:8 私は見た。すると見よ、青ざめた馬がいた。これに乗っている者の名は「死」で、よみがそれに従っていた。彼らに、地上の四分の一を支配して、剣と飢饉と死病と地の獣によって殺す権威が与えられた。

いよいよ封印が解かれて、これから終末に起こることが明かにされます。19章では白い馬に乗った方は血に染まった「神のことば」でありますから、これは十字架に死なれた神のロゴスであるイエス様のことです。勝利は十字架のイエス様にあります。すなわち福音宣教の勝利であって、患難が起こる前に救いのみわざが確実にあることがわかります。この救いに与れたことを感謝しましょう。

また「赤い馬」は戦争、「黒い馬」はききんを表しますから、終末にはそのような苦難が起こることは知っておく必要があります。また第四の「青ざめた馬」も大きな苦難や天変地異があることを表します。私たちはこのような問題の中にも揺るがないしっかりとした信仰を持つ必要があります。今も試練の中に置かれている兄弟姉妹は、今がそのときのための尊い訓練であって、自分の信仰が精練されていることを知って、主の愛に感謝しましょう。

誰もいいかげんな信仰のままでは、この終末の苦難に勝てないことを知って、主の力に頼る訓練をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

